平成12年1月 広報 Vol. 552

さめうら

1

2000 January



山形チヨさん(100歳)　木之内コトさん(100歳)

住んでみたいむら・住みつづけたいむらの創造

鮫川村長　芳賀文雄



西暦二〇〇〇年の初めにあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、健康で希望に満ちた新年を迎えられましたこと、お喜び申し上げますとともに、日ごろ村政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

昨年は、四月に村長および村議会議員選挙、七月に農業委員選挙がいずれも無投票当選となりました。執行機関と議決機関は、互いにその権限と責任を尊重しながら、共通の目標である村政の発展のために全力を尽くさなければなりません。四期目がスタートし、その使命の重大さを痛感しております。

全国的に経済が回復しない状況の下、村の財政も過去にない厳しい現状であります。また、過疎、少子、高齢化など、さまざまな課題が山積しておりますが、二十一世紀をより豊かにいきいきと暮らせるよう、安心して子育てができる施策や四月から始まる介護保険制度の公平な運営とスムーズな実施に努めます。

また、快適な生活環境づくりに向けて、集落排水事業（下水道）の十二年度内完成、合併処理浄化槽設置の推進、飲料水不足地域の小規模水道施設整備を実施します。

道路交通網については、広畑・新宿地内の交通量の緩和を図るため、国道三四九号バイパス新宿トンネルが一月十七日に供用開始となります。県道については、県道勿来浅川線の内ケ竜・中内間、赤坂西野石川線の菅田地内の改良、農免農道東野中部地区の滝ノ下および内ケ竜地内の整備、林道岡田一本木線の開設、村道関下鹿角平線改良事業の早期完成を県に強く要請し、生活基盤の整備に努めます。

さらに、後継者育成を含めた魅力ある産業の確立、豊かな自然環境を生かした村づくりを進め、「住んでみたいむら・住みつづけたいむらの創造」を目指し、誠心誠意取り組んでいく所存であります。これらの施策の実現のため、村民皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

新たな世紀に向け、皆様方のますますのご健勝とご発展を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつとします。



生活環境を重視した活力ある村づくり

鮫川村議会議長　藤田好幸



新年あけましておめでとうございます。皆様には、健康で希望に満ちた初春を迎えられましたことをお喜び申し上げます。

昨年は、統一地方選挙に伴い、本村議会も新議員を迎え、新たなスタートをいたしました。私も二期目の議長の大役を仰せつかり、その上、県町村議会議長会長にまで選任され、その重責を痛感し、議員各位のご協力を得ながら、その職務を無我夢中で遂行しているところであり、新年を迎え、昨年にも増して心新たな思いがいたします。

また、村民皆様のご支援により、昨年一年間、議員活動に精励できましたことに対し、鮫川村議会を代表し、心からお礼申し上げます。

西暦二〇〇〇年を迎え、二十一世紀の扉も間もなく開かれようとしている今日、国の内外ともに大きな変革の時期に遭遇しておりますが、地方行政におきましても、過疎、少子化、高齢化、地方分権、介護保険、さらには情報化の進行など、未だかつて経験したことのない新たな事態に直面しており、まさに行政の真価が問われている時代と言っても過言ではありません。

わが鮫川村におきましても、若年層の流出などから人口構成の高齢化と過疎化が続き、村勢の発展を図る上での大きな課題となっておりますが、これらを打開するためには若者にも十分魅力のある生活環境を重視した「活力ある村づくり」を実現することが何よりも重要であると思います。

われわれ議会といたしましても、村の活性化のために、住民のニーズを村政に反映すべく最善の努力を傾注していく所存であります。

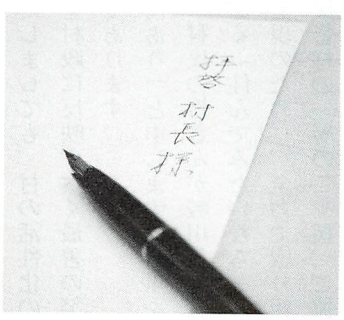
「一年の計は元旦にあり」と申します。新年を契機に心を新たにして、村民の皆さんが鮫川村を誇りとし、村の将来像である「住んでみたいむら・住みつづけたいむら」の実現のために、全力で取り組んで参りますので、村民皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、村民皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

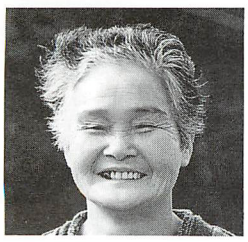


西暦2000年ミレニアム記念企画

村長への手紙



拝啓　村長様
私は鮫川村が大好きです。
だから、私の提案を聞いてください…。
＊
「村長への手紙」を募集したところ、
6組から届いた。
そのどれもが、村づくりのヒントとなる
要素が含まれている。
西暦2000年。
何かが始まる予感がする。



若者の前途にお力添えを

関根ミツエさん（71歳）
大字西山字大平在住

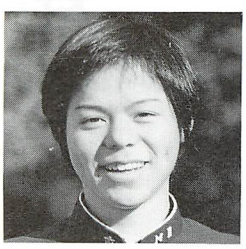
拝啓　村長様
明けましておめでとうございます。健やかな新年をお迎えのこと、心よりお喜び申し上げます。お身体大切に頑張ってください。

私が嫁として鮫川村へ来たのは昭和22年３月でした。50余年の歳月は、走馬灯のごとく過ぎました。それからの村は、時代の流れとともにめまぐるしく変わりました。開発発展と進み、県知事賞に輝き、今度は県町村議会議長会長と立派な方も生まれました。現在の村は感無量であります。

只々残る心は、高齢者の占める割合が増加し、反対に子供はその割に増加しない。産めよ増やせよ子宝。結婚できない人は村でも大勢おります。年代の人が集まれば「嫁がなくて困った」と話すばかりです。組内で９戸ある中で、平成12年度に小学校に入学する子供は１人もいません。本当に淋しい限りです。

村おこしは、若者が住みよい村、若い世代の鮫川村、緑につつまれた山村に喜んで嫁に来る村をつくっていただきたいと思います。１人でも多くの方が早く幸せな結婚を望みます。

村長様、西暦2000年にちなんで、若者の前途を祝ってお力添えをください。光る星の座広げてください。お願い申し上げます。



自然と共生している鮫川村が好き

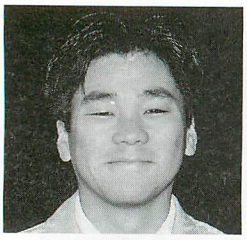
中川西　学さん（17歳）
大字石井草字森ノ前在住

拝啓　村長様
鮫川村は年々人口が減少し、同時に高齢時代を迎えてしまいました。そこで僕は、今の鮫川村に何があれば村が栄え、人口が増えるのかを考えましたので村長さんに提案します。

今、村民の４人に１人が65歳以上の高齢者で、これからも増えると思います。そこで、村に露天風呂とビッグレジャー施設を設けてみてはいかがでしょうか。風呂好きの若い世代から高齢者に至るまで、そこで日ごろの疲れを癒してもらうのです。また、健康や体力の増進ができるレジャー施設を設ければよいと考えています。村民の方々だけが利用するのではなく他の市町村の人にもＰＲし、大勢の人に利用していただければよいと思います。

次の提案としては、鮫川村には自然を生かした観光スポットが数多くありますが、その大切な自然をあまり壊さずに、自然豊かなニュータウンを造れば人口も増えるのではないかと思います。ただし、開発のために自然が減少し、そこに住む鳥や野生動物の生態系に悪影響を及ぼすことも考えなければならないと思います。

僕は、あらゆる面で少しずつ発展しながら、自然と共生している鮫川村が好きです。数十年後、鮫川村がどのように変わっているかが楽しみです。



まずは村に来てもらうこと

国島　教光さん（30歳）
大字富田字鍬木田在住

拝啓　村長様

私はよくいろんな人に鮫川村について尋ねます。「自然がいっぱい」「強滝の紅葉がきれい」「鹿角平に行った」などと、村を訪れたことのある人はいろんな答えを持っていますが、来たことのない人には「えっ、何が有名なの」と逆に聞かれることが多く、一般的にはあまりインパクトがないようです。

ですから、まずは村に一度来てもらうこと。それにはいろんな要素が絡んできますが、次のことが言えると思います。

一つ目は、主要道路の整備と開通。大きい道路ができれば交通量が増え、鮫川村が多くの人の目に触れます。二つ目は、村を通過するだけでなく、休憩、観光、イベントなどの対策を考えること（通過するだけだと置いていくのはお金ではなくゴミ）。三つ目は、立ち寄るところは女性が来たくなるものがよいと思います。女性は友人などと来ることが多く、また、それに連られ男性や家族なども一緒に来るからです。四つ目は、案内看板を立て宣伝広告を行うこと。インターネットもよいのですが、わざわざ「鮫川村のホームページを見よう」という人は少ないので、地道ですが「鮫川村＝○○○」というイメージを作っていくことが必要ではないでしょうか。

21世紀に向け、村として、村民として新しいコンセプトを持ち、進めなければならない。そう思う今日この頃です。



誰にでも分かる「テーマ」を示して

斎須　信子さん（54歳）
大字赤坂中野字新宿在住

拝啓　村長様

こんなに身近に手紙が書けるなんてためらいもありましたが、「広報さめがわ」のこの企画に感謝しております。

今、21世紀を前に改めて考えてみますと、満足の中に生活し、何一つとして危機感を感じることなく、現在に至っておりました。しかし、国内外でリストラが進み失業者が増え、身近なところでは会社統合により閉鎖し、職を失ったという友達や知人がおります。人ごとではない世の中なんだと感じております。こんな不透明な世の中に、私達は何ができるでしょうか。何に頼ればよいのでしょうか。村の方向性が見えなければ見えないほど、不安と「どうでもいい」という気持ちが先立ち、無責任になってしまいそうです。

そこで提案します。誰にでも分かる「テーマ」を示してください。こんな時代だからこそ、例えば「世界一きれいな村」「安心して子供の産める村」「世界一おもしろい村」「税金の安い村」などなど。そのために何が必要か、不必要かと。私が夢見る未来は、いつも子供達の声がして、元気で明るい若い人達が安心して子供を育てられる村であってほしいと思います。やがて鮫川村の商店（店先）のショーウインドーに赤ちゃんの洋品、おもちゃ、お子様ランチなどが並ぶ日が来ることを信じつつ、2000年が良い年になりますように。



農業振興のため特産品開発を

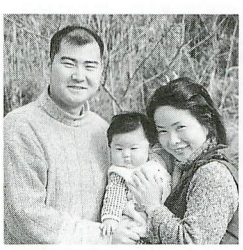
かぼちゃ美人の会
（鈴木リキヰ会長・会員９人）

拝啓　村長様

私たち「かぼちゃ美人の会」は、村の農産物のＰＲになればと、直売をしたり宅配なども行っています。地域の皆様に支えられ、少しずつ活動してきました。そうした中、イベントに参加したり、直売をしていて思うことがあります。農産物は重すぎてお土産品には不向きです。新鮮な野菜は喜ばれるのですが、加工施設があれば一定した味を皆さんに勧められるのです。村の農業の振興のためにも、農産物の加工施設が必要ではないでしょうか。そこで味噌、凍みもち、漬物、佃煮、お菓子など、鮫川ならではの味を開発し、新たな特産品の掘り出しをするのです。加工品の材料となる農作物は遊休農地を生かし、加工施設では、経験や知恵の宝庫である高齢者も働く。そうすれば高齢者の生きがいにもつながります。

次に、村内で活動しているさまざまなグループを、村のインターネットで紹介してはいかがでしょうか。そこから交流が生まれたり、活動に広がりができると思うのです。

このような小さなグループですが、村の農産物や特産品のＰＲを続けていきたいと思っています。農業は私たち人間の生活の基本です。そして楽しい職業です。物を作るという喜びがあります。近い将来、もっと農業が見直され、繁栄することを願っています。



子育てしやすい環境づくりに期待

薄葉正勝さん（29歳）・真澄さん（29歳）
大字赤坂中野字東前田在住

拝啓　村長様

村長さんが昔、鮫川保育所の所長先生をしていたころにお世話になった人たちが、今では親としてこの村で生活していますが、その上でとても気になることがあります。それは、果たして鮫川村は子育てしやすい環境にあるかどうかということです。最近では、幼児虐待や誘拐など、子供を巻き込んだ事件が多く聞かれ、子供を持つ親としては他人事ではありません。また、鮫川村が抱えている問題の一つに「少子化対策」があると思います。乳幼児医療費の無料化、保育所では２人目以降の保育料が無料になるなど、その対策がとられています。しかし、４月から６歳未満の子供にチャイルドシートの装着が義務付けられます。私達は今のところ子供が１人だけなのでよいのですが、２人、３人と６歳未満の子供がいる家庭には負担がかかります。そこで、村でチャイルドシートを貸し出すサービスがあってもよいのではないでしょうか。子供を産むからには育てる責任があり、それにはお金がついてまわる。そのため産む数が減ってしまっている現代の若い人たち。自然に恵まれた素晴らしい環境の中で育てたいという気持ちは誰でもあると思います。でも、生活に苦しんでまで子供を産んで育てようとする人は、今の世の中ではまず考えられません。子育てしやすい環境づくりに期待しています。

むらのできごと

広報にあなたの写真が載りましたら、さしあげますのでご連絡ください。
（☎49－3111　内線214）



消防車を見学し大喜びの園児



消防署の仕事について話を聞く子どもたち

火遊びはしません。

幼稚園児が鮫川分署を見学

12月７日、鮫川幼稚園の子どもたちが棚倉消防署鮫川分署を訪れ、消防署の仕事について学びました。

救急車の内部や消防車の装置などを実際に見学し、その仕組みや役割について署員から説明を受けた子どもたちは、初めて触れる車両に歓声を上げながら見入っていました。

また、「火災を起こさないように気をつけましょう」という署員の話に「火遊びは絶対にしません」と大きな声で約束していました。

西野ナイス、戸村チームが熱戦制す

鮫川村親善インディアカ競技大会

村体育協会主催の「第一回鮫川村親善インディアカ競技大会」は十二月十二日、農業者トレーニングセンターで開かれ、男女混成の部で西野ナイスチーム、ファミリーの部で戸村チームが熱戦を制しました。

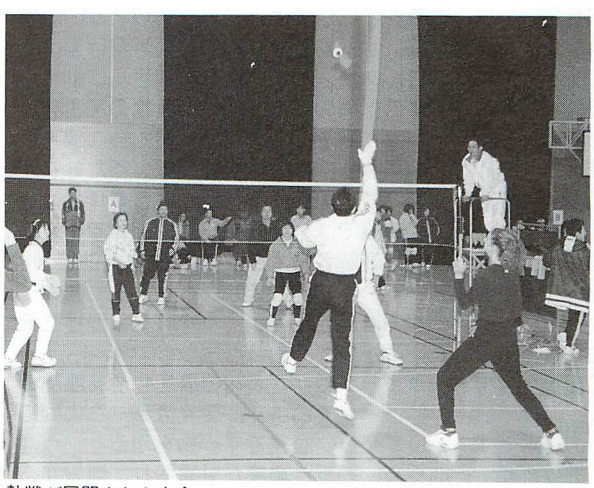
インディアカは一チーム四人編成で、男女混成の部に二十一チーム、ファミリーの部に八チームが出場。和やかな雰囲気の中にも緊迫したゲームが展開されました。

男女混成の部の上位四チームは、二月二十日に矢祭町で開かれる郡大会に出場します。

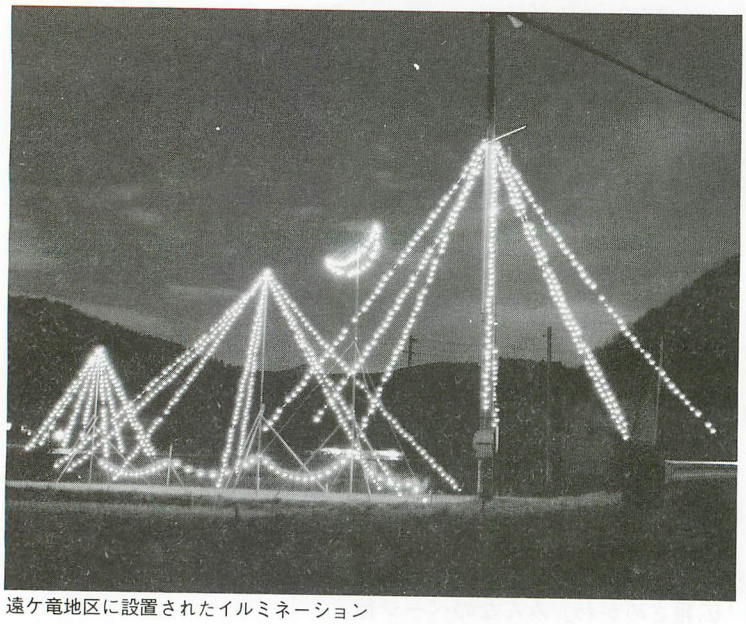
成績は次のとおりです。

男女混成の部　▽優勝＝西野ナイス▽準優勝＝西山フラワー▽三位＝ファンキーピーポー、西野ミドル

ファミリーの部　▽優勝＝戸村▽準優勝＝かぶらぎファミリーズ▽三位＝なおみちゃん、玉川



熱戦が展開された大会



遠ケ竜地区に設置されたイルミネーション

子どもたちに夢を

遠ケ竜でイルミネーション点灯

大字赤坂東野字遠ケ竜地区の遠ケ竜若衆会（森元良会長）では12月11日、イルミネーションの点灯式を行いました。

子どもたちに夢を与えようと企画されたもので今年で３回目。点灯式には地元の人たちなど約100人が参加。午後５時の時報と同時にスイッチが入り、約1,500個の電球が一斉に輝きだすと、あちこちから歓声と拍手がわき起こりました。

イルミネーションは、１月10日までの午後４時から翌朝まで毎日点灯されます。

右脳使って痴ほう予防

富田地域ふれあい教室が開講

右脳を活性化し痴ほう予防を図る「富田地域ふれあい教室」がスタートしました。

痴ほう予防教室は、西山地区に続いて二カ所目。富田地区の区民有志でつくる実行委員会の主催で、六十歳以上の五十二人が参加しました。

十一月三十日、富田区集落センターで開かれた開講式では、船木彦助委員長、石下恭子県南保健所長らがあいさつ。石下所長の健康講座を聴講したあと親睦会に移り、村保健婦の指導で手足を動かすゲームを楽しみました。

今年度の教室は三月まで月一回開き、全身を動かす体操のほか、歌会やカルタ取り、ゲームなどを行います。



手足を動かすゲームを楽しむ参加者

村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす



市町村境の案内板

19カ所に案内板設置

首都圏などからの観光客が急増していることから、村では塙町と共同で、観光施設などへの距離を示す案内板を設置しました。今回村内に設置したのは、主要道路の市町村境など合わせて19カ所。来年度以降も村内の要所に設置する予定です。



さまざまな題材を描く参加者

絵手紙教室

公民館事業の趣味の講座「絵手紙教室」は12月１日から16日まで合わせて３回、山村開発センターで開催。13人の参加者らは、浅川町在住の画家芳賀仁美先生の手ほどきを受けながら、水彩絵具を使ってさまざまな題材に挑戦していました。

みんなのページ

PAGES FOR EVERYBODY

村民の皆さんが作るページです。
村づくりに関する意見、質問、提案(アイディア)
感激した話、ほほえましい話など……
ハガキや封書、ファックスでお寄せください。
ただし、中傷や営利を目的としたものは
ご遠慮ください。
「テーマにひとこと」も下記のあて先へ。

●

〒963-8401　大字赤坂中野字新宿39-5
鮫川村役場「広報さめがわ」みんなのページ行
☎49-3111（内線214）　FAX 49-2651

お知らせします

鮫中から世界へ情報を発信

鮫川中学校のインターネットのホームページが完成し、十二月二十日からインターネット上に掲載することができました。

ホームページは、パソコン部が学校の紹介を中心に、「ふるさとの時間」のパソコンネット塾が「ふるさとの時間」の活動の様子を作成。内容は、「本校紹介」「鮫中の歴史」「鮫川村紹介」「部活動」「ふるさとの時間」などとなっています。

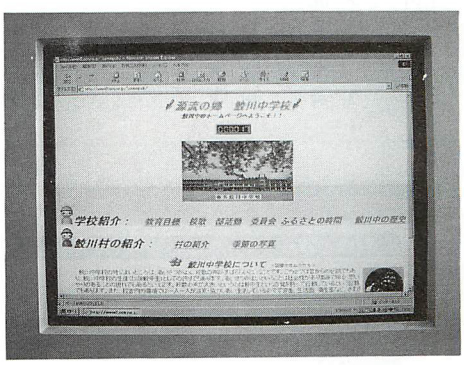
パソコン部やパソコンネット塾の生徒が、一つ一つの操作を覚えながら遅くまでかかって作成したもので、かなりのページに及ぶたいへんな力作です。

郡内でホームページを開設した中学校は本校が初めて。鮫川中学校から世界へ、情報を発信します。

■ホームページのアドレスは、http://www2.ocn.ne.jp/~samegajh

詳しくは、鮫川中学校（☎49-3101）まで。

（鮫川中学校）



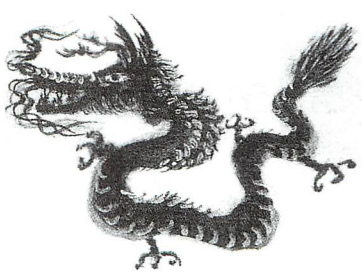


高齢者交通安全指導隊 65歳以上を訪問指導

昨年8月に発足した村高齢者交通安全指導隊は、多発している高齢者の交通事故を減少させようと、村内の65歳以上の人を訪問し、交通事故防止のための指導を行っています。皆さんのご家庭を訪問した際は、この趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

クイズ

ふるさと再発見



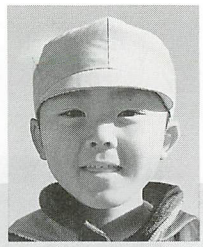
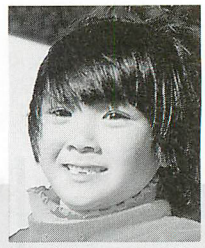
問題　今年は辰年ですが、1月1日現在で、鮫川村には辰年生まれの人が何人いるでしょうか。次の中から選んでください。

①300人以下
②301～350人
③351～400人
④401～450人
⑤451～500人
⑥500人以上

※正解は、来月号でお知らせします。

＊

▼先月号の正解…墓地（ぼち）石山（いしやま）農村公園

今月のスマイル

テーマにひとこと

今月のテーマ／わたしの夢・願い

▼わたしの夢は、じゅういになることです。それは、わたしが小さいころから動物を家でかっていて大好きなことと、自分のペットたちが病気にかかって苦しんでいるのを見ると「かわいそう。今すぐなおしてあげたい」と思うからです。ぜったいにじゅういになるぞ。

（関根亜希子さん・戸倉・11歳）

▼私の夢。長期休暇をとって、南の国でのんびりと魚たちとたわむれた～い。それができなければ一週間、各駅停車の電車に乗って見知らぬ街を歩いてみた～い。それができなければ一日、「夢って何かな」って考えてみた～い。いつかかなえられるように頑張るんだ。

（夢見る乙女・43歳）

▼私は、長男夫婦とは生活を別にしていますが、孫たちとなるべくたくさんコミュニケーションをとり、お互いにあまり干渉し過ぎないよう、見守っていきたいと思います。大好きな草花を育て、ストレス解消をして、また、「体の声」をよく聞き取り、健康には十分注意していきたいと思います。

（蛭田ノリ子さん・広畑・50歳）

▼私の夢は、家族旅行で沖縄に行くこと。そして、海の青さと透明度を子どもたちに見せてあげたいと思います。

（匿名・44歳・男性）

▼もうすぐ二十一世紀。十年後、二十年後、五十年後の鮫川村はどうなっているのだろう。新たな夢をふくらませ、希望をもって西暦二〇〇〇年のスタートを切ろうと思う。

（匿名）

▼2月号のテーマ…女の言い分（女性限定）
締め切り　1月21日（金）
◎ご意見お待ちしています。

芸術文化 鑑賞の入場料を助成します

村教育委員会では、より多くの方々が優れた芸術・文化に接し、心豊かな潤いある生活を送れるよう、芸術・文化公演の鑑賞を奨励する「芸術文化鑑賞奨励事業」を実施しています。音楽、舞踊、演劇、演芸、映画、美術、公演などの芸術・文化的公演、展示などを鑑賞した人に、その入場料の「半額」を助成します。

助成対象者　村内に住所があり、居住する小学生以上の人

助成額　助成対象となる入場料の額は3,000円以上（高校生以下は2,000円以上）。入場料の額が10,000円を超える場合、助成金は5,000円が限度。助成は年間1人2回まで。

詳細　村教育委員会生涯学習課生涯学習係（☎49－2247）

み・ん・な・の

伝言板

催し

■冬の企画展「豊かなる世界へ　―豊穣と想像力の博物誌―」
期間…1月22日（土）～3月20日（日）／**場所**…福島県立博物館（会津若松市）／**入場料**…一般・大学生＝260円、高校生＝150円、小・中学生＝100円
詳細　福島県立博物館（☎0242-28-6000）

■ローダー・コレクション展
期間…2月11日（金）～3月5日（日）月曜日休館／**場所**…郡山市立美術館／**入場料**…一般＝210円、高校・大学生＝130円、中学生以下＝無料／**内容**…郡山市立美術館所蔵の英国版画家コレクションから代表的な秀作を公開
詳細　郡山市立美術館（☎024-956-2200）

■倉美館名作劇場・映画「ユキエ」
日時…1月22日（土）19:00／**場所**…棚倉町文化センター「倉美館」／**入場料**／大人＝1,000円、小人＝500円（全席指定）
詳細　倉美館（☎33-9610）

■ふくしま国際蘭展
期間…3月16日（木）～3月21日（火）／**場所**…ビックパレットふくしま（郡山市）／**入場料**…前売り1,200円（村公民館でも取り扱っています）、当日＝1,500円、小学生以下＝無料
詳細　村公民館（山村開発センター内、☎49－2247）

■斉藤清 心のふるさと展
期間…1月23日（日）まで／**場所**…斉藤清美術館（柳津町）／**入場料**…一般＝500円、高校・大学生＝300円、小・中学生＝200円
詳細　斉藤清美術館（☎0241-42-3630）

募集

うつくしま未来博くらしの知恵袋…**内容**＝くらしの写真（明治時代から現在までの、くらしの知恵が息づく生活風景の写真）、くらしの知恵（地域や家庭に伝わってきたくらしの知恵）、行事・ことわざ・風習（地域に代々伝わってきた行事・ことわざ・風習）／**募集期間**＝平成12年6月30日（金）まで／**詳細**＝「くらしの知恵募集」事務局（㈱ライト・エイジェンシー内、☎024-531-0480、FAX 024-531-3026）

わが家の家計簿・生活設計体験談…**募集期間**＝2月20日（日）まで／**詳細**＝貯蓄広報中央委員会（☎03-3279-1111）

ふくしま海洋科学館ボランティア…**募集期間**＝1月10日（月）まで／**詳細**＝（財）ふくしま海洋科学館（☎0246-73-0880）

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集します。総務課総務係（広報担当）までご連絡ください。

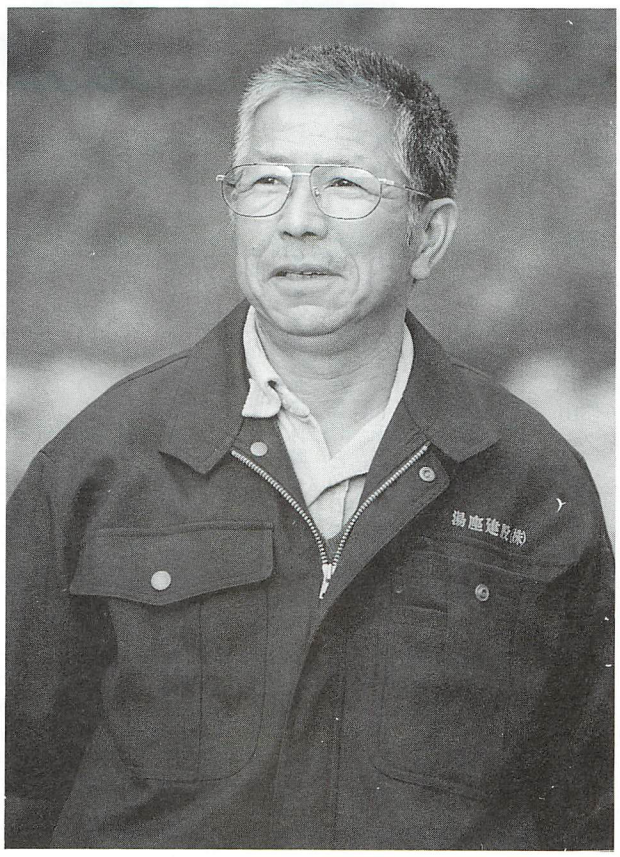
村民リレー

Vol. 21

小山田一成さん

Kazunari Oyamada

大字富田字反田在住



PROFILE

おやまだ・かずなり　昭和25年生まれ、49歳。湯座建設㈱勤務。一成さん夫妻と子供４人の６人家族。趣味はゴルフ。

福祉について思う事

私には、二十三歳になる障害を持った娘がいます。娘は今、「太陽の国」の中にある「きぴたき寮」にお世話になって二年になりますが、施設に入る前は棚倉町の「寿恵園」にショートステイで月に一週間くらいお世話になっていました。また、村内にも「ひだまり荘」という施設ができ、村にお願いしショートステイでお世話になり、娘にとってはとても楽しそうでした。

このような福祉施設が村内にできたことは、大変良いことだと思います。また、授産施設の「たんぽぽの家」ができ、障害を持つ人たちが集まり、いろんな作業をしたりできることは、障害者を持つ親としてはうれしいことです。

今、高齢化社会の中で老人に対しての福祉は良くなっていますが、障害者福祉については、まだまだ遅れている面がたくさんあると思います。自立できる障害者は健常者と同じく働ける場所、介助がないと何もできない障害者は自立に向けての機能訓練ができる施設の整備など、障害者福祉についても改めて考え直さなければならないと思います。

次回は、小山田さんの紹介で石井とよ子さん（酒垂）の登場です。

俳句

あまりにも短き余慶河鹿笛　中井　恒峯
晩秋の余白を生きる力とす　金沢　暁舟
にわとりの肥えて走れる霜日和　山本　朗史
豊作の案山子も畦に横たわる　小山田清哲
柏紅葉肥り過ぎとある診断書　斉須　信子
秋冷えにポットの溜息湯気昇る　黒田　寿香
晴れ間見る秋の衣に進む雲　金沢三津子
おくれたる秋の調整玄米粒　北條素人坂
古箱の母の綿入惜し畳む　矢部　正子
立冬の光りはらはらこぼれ落つ　山本五十鈴
かくれんぼ五つ数えて春となる　森　寿治
雨あがりわたってみたい虹の橋　野木美津江

短歌

舞散りし木の葉一ひら露天風呂の波に漂う風情を添えて　森　芳子
一周忌が来るとも夫逝きしこと信じられない未だのわたし　本郷　チヨ
新米を叔母に渡せば百寿なる手は小さくて何とか細き　鈴木イミ子
怪我をして二度も欠席の友も来

赤坂中野物産取調帳（4）

明治八年（一八七五）分　赤坂中野区有文書

（承前「蔬園類」つづき）

一、韮（にら）
但シ壱尺丸キ壱把　一束ニ付五銭ノ割
此代金三拾五銭

一、蒜（ひる）
但シタマ百目（匁）ニ付二銭ノ割
此代金二拾六銭

一、蕃椒（ばんしょう＝唐辛子）
但シ百本ニ付二升割　一升ニ付二銭ノ割
此代金拾三銭二厘

一、蕨（わらび）拾駄ト二把
六把壱駄ノ割　一駄ニ付三拾銭ノ割
此代金三円拾銭

一、独活（うど）五駄三把
但シ三尺丸キ壱把　六把壱駄ノ割
此代金三円三拾銭

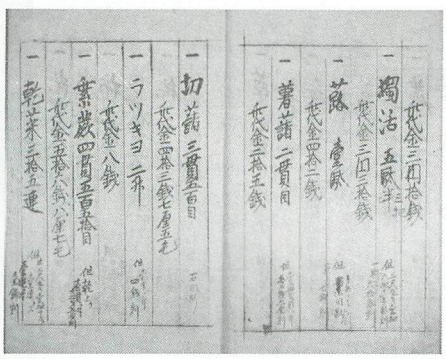
一、蕗（ふき）壱駄
但シ三尺丸キ壱把　六把壱駄割　一束ニ付七銭ノ割
此代金四拾二銭

一、薯蕷（やまのいも）
但シ壱貫目ニ付壱二銭五厘割此代金二拾五銭

一、切蕷（とろろいも）右同断
此代金四拾三銭七厘五毛

一、ラッキョ二升
但壱升ニ付四銭ノ割
此代金八銭

一、紫蕨（ぜんまい）
但シ乾上ゲ壱貫ニ付十二銭五厘割
此代金五拾六銭八厘五毛



一、乾菜三拾五連
但シ生三尺丸キ壱把干上ゲ壱連トス壱連ニ付壱銭ノ割
此代金三拾五銭

一、乾栗二拾五石四斗五升
伯シ壱升ニ付二銭ノ割
此代金五拾円五拾銭

一、柿　弐駄
但シ二百入壱俵四俵壱駄割
壱駄ニ付壱銭ノ割
此代金三拾二銭

一、桃　四升
但シ壱升ニ付十六銭ノ割
此代金四銭

一、梅　三升
但シナマ壱升ニ付八厘ノ割
此代金二銭四厘

一、山梨子（やまなし）六升
但シ壱升ニ付壱銭ノ割
此代金六銭

一、荏子（えごま・じゅうねん）
六升八升　壱円ニ付四斗割
此代金壱円七拾銭

（以下次号）

21世紀の生涯スポーツシーンを考える。　の巻

今回は西暦2000年という世紀末に当たり、21世紀の生涯スポーツシーンについて考えてみましょう。

■すべての人が精神的な豊かさを求めたスポーツライフを楽しんでいる…余暇をどう過ごし活用するかが、人生においてますます重要な意味を持つ時代。健康志向の高まりからも、スポーツになじみの少ない人たちのスポーツへの参加が気軽に行われている。もはやスポーツは、体力やいわゆる運動神経に自信のある人たちだけが行うものでなく、観ることも含めてスポーツが生活の一部となっている。

■自分たちの地域に合った総合型スポーツクラブがある…単一種目少人数のクラブ同士が協力し合い、多種目多人数での１つの総合型スポーツクラブを立ち上げた。子どもから高齢者まで気軽に入会でき、多世代交流が図られ、地域が活性化している。また、安価な会費のため家族ぐるみでの入会者も多く、週末には親子でいろいろなスポーツを楽しんでいる。さらには、いろいろなスポーツがいろいろなレベルで経験できるよう公認の指導者や地域の学校の教員が指導に当たり、初心者から上級者まで同じフィールドでスポーツを行っている

■大人たちの姿を見て子どもたちが育っていく…子どもたちは小さいころからいろいろなスポーツに触れるため、自分に合ったスポーツに出会うことができる。また、クラブの上級者や指導者、親の姿にあこがれ、夢を持って育っている。

■実はもう動きだしている…こんな夢のあるスポーツシーンの実現には、さまざまな障害があったり、長い時間が必要だったりしますが、実は、県南地域で東村が総合型地域スポーツクラブのモデル地区としてその実現へ動き出しています。

生涯学習課社会体育係
☎／FAX49-3295

生涯スポーツ情報　その11

て打ち明け話するクラス会　坂本　雪絵
臥すわれにどうしたのかと幻の夫が来るなり気にかかる宵　川崎美智子
微笑むが如くに遺影迎える夕べ告げおり今日の外出を　蛭田　光江
孫の結婚披露宴への招待状読めば老にも福音来たる　緑川　理羽
蕗のとう一つ届ける友のあり遺影に先ずは供う正月　関根　美津
足跡に何を残せん次世代にわが人生の証しとなりて　水野　国勝
雷鳴に度肝抜かるも戦場を思えばなどと頭抱えず　松本　一郎
揺れ光る青葉が森の鳥の群れを呼ぶとう声澄みており　大平　太平
激戦を八度生きぬき亦闘病授かりし命未だ長らう　鷲野谷　満
昼食の準備をしつつ若者の手助けをする老の農繁期　青戸　照子
鉢に葱を愛育しつつ盆栽も合理化となす隣家の主婦は　蛭田　浩市
明けましておめでとうとの孫らの声澄みて茶の間に満たす幸せ　松本　由紀
いつしかに成長の跡しのばせて挨拶をする孫らの元旦　中川西　肇
秋晴に里芋のカラ軒毎に吊してあるはすだれにも似て　芳賀　洋郎

いきいき生活、応援します。

く・ら・し・の 情報 Information

電話番号 Telepone

鮫川村役場	☎ 49-3111(代)
	FAX 49-2651
教育委員会	
学校教育課	☎ 49-3151
生涯学習課	☎ 49-2247
歴史民俗資料館	☎ 49-3106
農業者トレーニングセンター	☎ 49-3295
交流施設　ほっとはうす・さめがわ	☎ 48-2555
国保診療所	☎ 49-2028
高齢者総合福祉センター　ひだまり荘	☎ 49-3600
村民保養施設　さぎり荘	☎ 49-2205

税務

税の申告が始まります

2月14日から3月15日まで税の申告相談を行います。この申告相談は、平成11年の年間（平成11年1月から12月まで）の所得を申告していただくもので、平成12年度の村・県民税や国民健康保険税の課税の基礎となります。最寄りの会場でお気軽にご相談ください。

申告が必要な人

▼自営業や農業など、事業を営んでいる人▼地代、家賃、配当金を受け取ったり、譲渡などの所得がある人▼給与や退職金以外の所得の合計額が20万円を超える人▼2カ所以上の事業所などから給与の支払いを受けた人▼国民健康保険の加入者

持参するもの

所得の種類、控除の種類によって必要な書類は変わります。

・必ず持参するもの…▼本人の預金通帳▼印鑑（預金通帳に使用の印鑑）▼生命保険料や建物共済などの払込証明書

※所得の種類によっては、次の書類も必ず持参してください。

・農業所得…▼収入の分かるもの（収支計算をしている人）▼平成11年中に農機具などを購入した場合は、契約書または領収書▼肉用牛売却所得の免税措置を受ける人は出荷証明書

・給与所得…▼源泉徴収票または事業主の発行する給与・賃金の支払証明書や支払明細書

・営業・その他の事業所得…▼収入の分かるもの（売上帳など）▼経費内訳書および領収書（集計してきてください）

・不動産・山林所得…▼売買契約書または明細書

※控除を受ける人は次の書類が必要です。

・医療費控除…▼医療機関の領収書または支払い金額が証明できるもの（月ごとに集計）

・住宅取得特別控除…▼住民票の写し▼登記簿謄本や請負契約書の写し▼増改築の場合は、増改築等工事証明書▼借入金の年末残高証明書

■ 申告相談の日時と会場

月	日	曜	時間	対象地区	会場
2	14	月	午前9時～午後4時	青生野	青生野集落センター
	15	火	〃		
	16	水	〃	渡瀬	渡瀬区集落センター
	17	木	〃		
	18	金	〃		
	21	月	〃	富田	富田区集落センター
	22	火	〃		
	23	水	〃	赤坂東野石井草	東石区集落センター
	24	木	〃		
	25	金	〃		
	28	月	〃	西山	西山区集落センター
	29	火	〃		
	1	水	〃		
3	2	木	〃	赤坂西野	赤坂西野区民センター
	3	金	〃		
	6	月	〃		
	7	火	〃	赤坂中野	山村開発センター
	8	水	午前9時～正午		
	9	木	〃		
	10	金	午前9時～午後4時	申告できた人上記でなった人か	
	13	月	〃		
	14	火	〃		
	15	水	〃		

税務署からのお知らせ

■所得税の還付申告

確定申告をする必要がない人でも、住宅をローンなどで取得

☎フリーダイヤル
0120-09-1299

育児の悩み、病気の心配、介護の知識、福祉の情報など、あらゆることに専門スタッフが親切にお答えします。相談料、電話料は無料。プライバシーは厳守されます。ご家族の健康づくりにご利用ください。

電話の仕方

①電話をかける。②電話の相手に「**福島県鮫川村**」と伝える。個人の名前については匿名でもかまいません。③相談・応答

●

問い合わせ／住民課保健係
（☎内線236）

●

電話健康相談

24時間開設・年中無休

相談受付会場

申告相談は、右表により行います。最寄りの会場で相談できない場合は別の会場でも受け付けますが、前日までにご連絡ください。また、税務署から通知を受けた人は、白河税務署で申告をしてください。

詳細 総務課税務係（☎内線217、218）

募集

うつくしま未来博参加プログラム

「水のある風景」フォトコンテスト

主催 うつくしま未来博協会

テーマ 福島県内の四季折々の「水のある風景」（河川、湖沼、池、噴水、生活用水など）や「水を背景にした暮らし」

部門 ①一般部門 ②ファミリー部門

作品 ①一般部門＝カラープリント6ツ切以上4ツ切判までの一枚写真で1人3点まで。②ファミリー部門＝カラープリントサービス判以上キャビネ判までの一枚写真で1人3点まで。デジタルカメラの場合、A4サイズのプリントアウト（データの応募も可）

応募締め切り 平成12年11月30日（木）当日消印有効

応募方法 作品の裏に規定の応募票を両面テープで貼り付け、持参または郵送してください。

応募先 〒960-8074、福島市西中央5丁目22番4号、興新福島ビル1階、「水のある風景」フォトコンテスト事務局

応募上の注意 作品は福島県内で撮影したもので未発表のもの、他に発表の予定のないものに限ります。入賞作品の版権は主催者に帰属します。応募作品は一切返却しません。

詳細 「水のある風景」フォトコンテスト事務局（☎024-526-6333）

統計

2000年 世界農林業センサス

農林水産省では、農林業の実態を明らかにし、各種の施策に利用できる総合的な統計資料を得るため、平成12年2月1日現在で世界農林業センサスを実施します。

●**調査対象**／全国すべての農家、林家などのほか、農業・林業サービス事業体、農業集落、林業地域

●**調査期日**／1月下旬に調査員が調査票を配布し、2月1日以降に回収します。

問い合わせ
企画調整課企画振興係
（☎内線222）



鹿角平・宇宙のロマンとの出会い 2000

新春観望会

「鹿角平・宇宙のロマンとの出会い2000新春観望会」を開催します。

オリオン座大星雲やアンドロメダ大星雲のほか、土星や木星なども観察します。

新春の思いを星に託してみませんか。

と き 1月2日(日)・3日(月)
午後7時～9時
ところ 鹿角平天文台（入場無料）

当日は、かなりの冷え込みが予想されますので、厚着（足元から冷えるのでスキーパンツなど）でおいでください。

問い合わせ
企画調整課企画振興係（☎内線222）

■贈与税の申告と納税

現金など、1年間に60万円を超える財産をもらった人は、贈与税の申告をしなければなりません。贈与税の申告と納税は2月1日から3月16日まで。

■住宅取得等特別控除説明会

▼**日時**…2月4日（金）①午前の部＝9時30分～②午後の部＝1時30分～▼**場所**…白河地域職業訓練センター（白河市）▼**持参するもの**…借入金残高証明書、住民票、建物の登記簿謄本、建築価格の分かるもの（請負契約書など）、源泉徴収票、印鑑

詳細 白河税務署（☎024-22-7111）

平成12年度新入学予定児童

もうすぐ1年生

平成12年４月に小学校に入学する児童は、平成５年４月２日から平成６年４月１日までに生まれたお子さんです。

平成11年12月１日現在の調べで、入学予定のお子さんは次の50人です。名前が違っていたり、漏れていましたら、１月31日（月）までに村教育委員会学校教育課（☎49－3151）に申し出てください。

＊

（　）は保護者・敬称略

■**青生野小学校（２人）**　笹島梓（幸雄）笹島千秋（兼光）

■**渡瀬小学校（14人）**　小松雅和（忠男）高久博紀（美智男）藤田真澄（博文）大森慎也（良幸）下重智也（三男）蛭田康暉（泉）芳賀正一（正次）蛭田尚美（武）蛭田耶子（和浩）蛭田綾乃（茂）遠藤明日香（幹一）蛭田彩子（宏）藤田冬華（正孝）小松千春（光明）

■**富田小学校（２人）**　戸室真優（優）青戸可奈子（正彦）

■**西野小学校（６人）**　石井貴大（一弥）佐藤祥宏（梅子）鈴木隆広（隆則）高坂和樹（隆之）吉田由美（喜満）高坂やよい（正男）

■**西山小学校（７人）**　関根裕大（裕治）水戸桂介（道夫）水野亜弓（学）関根千明（幸雄）松崎美知（勝雄）関根祥子（正男）関根優華（勝士）

■**鮫川小学校（19人）**　吉田元樹（日出男）矢吹飛鳥（浩善）市村拓也（春二）小林大起（正次）生方一真（浩志）金澤健吾（幸男）芳賀恭輔（一博）酒井泰宏（勇寿）矢吹潤平（勝則）鈴木美穂（孝夫）関根愛美（昭弘）金澤奈津美（伊佐美）小瀧友恵（慎一）清水爽佳（国明）小森雅子（洋一）鈴木彩雅（幸男）小松由佳（照義）飯島涼香（滋雄）生田目未歩（良則）

教育

鮫川村奨学生を募集します

鮫川村奨学基金の奨学生を次により募集します。

募集期間　平成12年３月１日（水）～３月31日（金）

応募資格　▼鮫川村に引き続き５年以上住んでいるか、住んでいたことがある人▼高等学校、高等専門学校および大学、短期大学に在学または今春入学予定の人▼経済的理由により修学が困難と認められること▼国や他の団体から同種類の奨学金の貸与、給与を受けていないこと

※奨学生は、選考委員会で願書の内容を審査決定し、出願者に通知します。

貸与月額　▼高等学校・各種学校（１～３年）…２万円以内▼高等専門学校…３万５千円以内。ただし、第３学年までは２万円以内▼大学および短期大学…３万５千円以内

貸与始期・期間　平成12年４月から在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還　奨学金は無利子で、卒業後６カ月から毎月、10年以内に償還すること（事情により全部または一部を一時償還することができます）

■　村教育委員会学校教育課（☎49－3151）

第52回鮫川村成人式

ハタチの門出を祝福します

とき　１月10日（月）午前10時から

ところ　山村開発センター



問い合わせ　教育委員会生涯学習課（☎49－2247）

年金

ご存じですか

国民年金基金

国民年金基金は、自営業などの人がゆとりある老後を過ごせるように、老齢基礎年金に上乗せ給付を行う公的な年金制度です。

国民年金基金に加入することにより、自営業などの人にもサラリーマン並みの年金が保障されます。

加入できるのは、国民年金の第一号被保険者（自営業者などとその配偶者）で保険料を納めている20歳以上60歳未満の人です。ただし、農業者年金に加入している人や国民年金保険料の免除を受けている人は加入できません。

詳細　福島県国民年金基金（☎024－523－3387）

相談

■**心配ごと相談**
日時…１月20日（木）、２月21日（月）午前10時～午後３時（午後１時から弁護士が相談を受けます）／**場所**…山村開発センター
詳細　村社会福祉協議会（☎49－3600）

■**行政相談**
日時…１月20日（木）午前10時～午後３時／**場所**…山村開発センター／**相談員**…行政相談委員赤坂基氏（☎48－2333）
詳細　総務課総務係（☎内線214）

納付

▼国民年金保険料　１月分
◎納期限　１月25日（火）
※納期内に納めましょう。口座振替の方は残高確認を

寄付

（敬称略）

▼社会福祉事業のために（金員）…溝井政由（埼玉県白岡町）中川西宏幸（中内）大竹眼科（石川町）山本實（大塩）
※12月１日～15日受付分

■**献血にご協力ください**　平成11年度第３回献血を、２月１日（火）午前９時から役場前で行います。

休日当番医

1月9日(日)	
あらまちクリニック(棚倉町)	☎33-8018
塙厚生病院(塙町)	☎43-1145
中島病院(石川町)	☎26-3415
1月10日(月)	
緑が丘診療所(棚倉町)	☎33-9468
石川医院(塙町)	☎43-0003
愛恵会大野診療所(石川町)	☎26-2615
1月16日(日)	
杉山胃腸科外科皮膚科(棚倉町)	☎33-7551
金沢医院(矢祭町)	☎46-2312
中島病院(石川町)	☎26-3415
1月23日(日)	
和田医院(棚倉町)	☎33-2012
中島医院(塙町)	☎43-0373
やまもと内科クリニック(石川町)	☎26-8311
1月30日(日)	
勝田医院(棚倉町)	☎33-3008
塙厚生病院(塙町)	☎43-1145
中島病院(石川町)	☎26-3415
2月6日(日)	
大木医院(棚倉町)	☎33-2424
金沢医院(矢祭町)	☎46-2312
会田病院浅川診療所(浅川町)	☎36-3705
2月11日(金)	
東白川中央病院(棚倉町)	☎33-3263
東舘診療所(矢祭町)	☎46-3165
大野病院(石川町)	☎26-1181

ごみ収集日

— 2月 —

■江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩
- 可燃物…3.7.10.14.17.21.24.28
- 不燃物…4.18

■さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地
- 可燃物…3.7.10.14.17.21.24.28
- 不燃物…2.16

■東白農商鮫川分校～鮫川中学校
- 可燃物…3.7.10.14.17.21.24.28
- 不燃物…3.17

■関下～越虫～青生野小～世々麦～葉貫～蕨ノ草～中沢～関口
- 可燃物…2.9.16.23
- 不燃物…2.16

■真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢
- 可燃物…2.9.16.23
- 不燃物…3.17

■官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜
- 可燃物…2.9.16.23
- 不燃物…4.18

■東前田～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保～石井草
- 可燃物…2.9.16.23
- 不燃物…25

※ペットボトルは、可燃物と同じ日に収集します。

こんにちは保健婦です



蛭田みゆき保健婦

保健事業紹介① 母子保健事業

一生の健康の基礎づくり

今月から、村の保健事業について「母子」「成人」「老人」に分けて紹介します。今月は母子保健事業についてです。

母子保健は、思春期～妊娠～出産～育児という一連の過程で、地域の中で家族がいきいきと生活でき、すべての子どもが個性と能力を発揮し、人とのふれあいの中で心身ともに健やかに成長できることを目指しています。

▼母子健康手帳交付…母と子の一貫した健康の管理・保持・増進のために母子健康手帳を交付し、保健指導を行います。

▼妊婦一般健康診査…母と子の健康の保持・増進と妊娠中の異常の早期発見のために、母子健康手帳交付時に「母と子の健康のしおり」（妊婦健診用医療費補助券）を2回分交付します。

▼乳幼児健康診査…4カ月から3歳までの発達の節目に、医師、栄養士、歯科衛生士、保健婦などが、心身の発育・発達のチェック、疾病・障害の早期発見、保健指導を行います。

▼乳幼児発達観察相談…主に乳幼児健診時、発育などについて心配がある場合、より専門的な健診や相談が受けられます。保健所棚倉支所で年3回実施。

▼にこにこ教室…子どもの心身の発達やかかわり方など、育児の悩みや不安を持つ保育者が対象。月1回、棚倉支所で遊びを中心とした教室を行っています。

▼さくらんぼ教室…保育所未入所児とその保育者に遊びの場を提供し、健康教育などを盛り込みながら集団生活の充実に努めています。特に親子で体を使って遊ぶことで、母子間、参加者同士のコミュニケーションが図られます。

▼子どもの健康を守る会…乳幼児期から一貫した保健指導ができるよう、小・中学校養護教諭、保母、栄養士、保健婦などで構成する組織。「一生自分の歯でおいしく物が食べられる」という目標に向かい、治療の勧奨や歯みがきの励行、学習会などを行っています。現在は予防活動に力を入れています。

▼その他、育児相談、家庭訪問など随時行っています。

母子保健は、一生の健康の基礎形成期にも当たります。「三つ子の魂百まで」といわれるように、乳幼児期に身についたものは大人になっても続けられることが多く、特に噛む力、飲み込む力、味覚などの発達を含めた栄養と、基本的な生活習慣の確立が大切になってきます。



今月の表紙

今年は（山形チヨさん・大字渡瀬字木之根・100歳）＋（木之内コトさん・大字渡瀬字下・100歳）×10＝2000年です。

お誕生

12月１日～15日届け出分



前田祐太朗（ゆうたろう）
平11.11.30生
住所／道少田
保護者／守栄

おくやみ

12月１日～15日届け出分

住所	氏名	月日	年齢
草木	溝井　昭三	11.30	71歳
中内	中川西モト子	12.11	62歳
大塩	山本　ハナ	12.14	92歳

※お誕生・おくやみのコーナーへの掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

人の動き

12月１日現在・（ ）は前月比

人口	4,851人	（－４）
男	2,409人	（－３）
女	2,442人	（－１）
世帯	1,112戸	（±０）

広報さめがわ
平成12年１月号（通巻552号）
■
発行・編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村
大字赤坂中野字新宿39-5
☎(0247)49-3111　ＦＡＸ(0247)49-2651
印刷／佐藤印刷所（塙町）

セピア色の思い出⑩



昭和25年７月

消防被服新調記念

提供／矢吹一男さん（大字赤坂西野字大塩・69歳）

昭和25年７月15日、鮫川村消防団第二分団の消防被服を新調した際に撮影した１枚である。当時、大塩地区は第二分団（西野）に属していたが、数年後、行政区域の変更に伴い第一分団となった。今でこそ、防火活動の徹底もあり火災は少ないが、当時はたき火をすることが多かったせいか、火災の発生も多かった。また、終戦後で治安があまり良くなかったため（泥棒が多かった）、団員が捜査などに駆り出された。地域住民の安全のため消防団の役割は大きいものであった。　（矢吹）

編集後記

▼あけましておめでとうございます。昨年は「広報さめがわ」にご支援、ご協力をいただきありがとうございました。今年は辰（たつ）年。皆さんの役にたつ（立つ）広報紙を目指しますので、今後ともご指導、ご鞭たつ（撻）をよろしくお願いします。▼今月は「村長への手紙」と題し、村民の皆さんが思い描く村の将来像や村づくりに関する提案など、貴重な意見をお寄せいただきました。ありがとうございました。「広報さめがわ」では、今回に限らずいつでも受け付けていますので、「みんなのページ」のコーナーへお寄せください。　（舟木）